

# 平成30年度 富山県中学校体育連盟 ソフトテニス競技専門部規定

富山県中学校体育連盟  
ソフトテニス競技専門部

## 1 ユニフォーム等について

- (1) 大会出場の時は、テニスウエア・テニスシューズを着用する。
  - (2) テニスウエア・テニスシューズ・ラケットについては、日本ソフトテニス連盟公認メーカーのものを使用する。なお、ウエアについては襟付き、かつファスナーまたはボタン付きのもので、日本ソフトテニス連盟のユニフォーム等着用基準に準拠したものを着用する。また、パンツ・スコートは膝より上のものを着用し、アンダーウエアやスパッツをユニフォームから露出して着用することは認めない。
  - (3) ソックスについてはハイソックスは認めない。ソックスの長さについては、くるぶしより上で、履いていることが外から見てわかるものに限る。
- ※ 上記(1)～(3)については、華美なものは控え、中学生らしいものを着用または使用すること。
- (4) ウエアおよび鉢巻きには、特別な文言や記号を後から書き入れもしくは印刷し、使用してはいけない。ただし、鉢巻きの端の部分に「学校名・氏名」を記入してもよい。帽子・サンバイザーもこれに準ずる。
  - (5) 上着の裾は、パンツやスコートの中に入れる。また、袖をまくり上げない。
- ※ 丈の短いユニフォームであっても同様の扱いとするので、極力購入を避けることが望ましい。

## 2 監督・コーチについて

- (1) 監督は、当該校の校長・教員・部活動指導員であること。
- (2) コーチは、当該校の教員・部活動指導員または、県中体連から通知される外部指導者の承認要件を満たし、手続きを完了させた者とする。
- (3) 大会中、監督・コーチに教育的配慮に欠ける不当行為があった場合は、試合中であれば退場の措置をとり、以後のベンチ入りを認めない。
- (4) 監督・コーチとなる者は、県選手権大会・県選抜大会では原則として監督会議に参加する。また、ベンチ入りする外部指導者は、配布されるコーチ章を着用する。

## 3 ベンチ入りについて

- (1) 団体戦では、選手4～8名及び監督1名でチームを編成し、選手・監督の他に、コーチ1名のベンチ入りができる。
  - (2) 個人戦では、選手2名の他に、監督1名、コーチ1名のベンチ入りができる。
- ※ 北信越大会以上の上位大会では、各大会の要項に準ずる。

## 4 質問及び提訴について

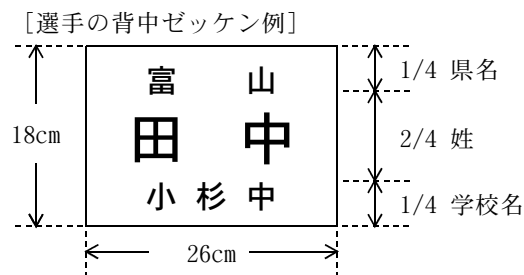
- (1) 団体戦においては、ゲームを行っている選手及び監督が質問や提訴を行う。コーチおよびゲームを行っていない選手による質問や提訴は認めない。
- (2) 個人戦においては、選手及び監督が質問や提訴を行う。コーチによる質問及び提訴は認めない。
- (3) 異議の申し立ては認めない。

## 5 監督・コーチのベンチの移動について

- (1) 団体戦で2面同時進行となった場合、監督・コーチのベンチ移動を認める。ただし、監督会議での決定事項を優先する。
- (2) 個人戦において同一校のペアが同時にゲームを行っている場合、監督・コーチのベンチ移動を認める。ただし、監督会議での決定事項を優先する。

## 6 ゼッケンについて

- (1) 背中にゼッケンを着用する。大きさはB5判横（白地）とし、県名・学校名・姓を黒文字で表記する。県名の「県」はつけない。学校名には「中」を記載する。また、おおむね上部1/4に県名、下部1/4に学校名、県名と学校名の間に姓を書くものとする。ウエアそのものへのプリントは認めない。必ず別の布で作成し、つけることとする。
- (2) 同一校に同姓の選手がいる場合には、名前の一部も付け加える。（岡田真 など）  
中学校名をわかりやすくするために学校所在地を学校名に付記してもよい。（氷見北部など）



※字体はゴシック体または明朝体を基本とする。  
斜体やポップ体などは避ける。

## 7 監督、コーチの服装について

- (1) 監督・コーチのベンチ入りの際は、襟付きのスポーツウエア（長袖可）・テニスシューズを着用する。

## 8 県大会・北信越大会出場数について

- |            |                |              |
|------------|----------------|--------------|
| (1) 県選手権大会 | 団体戦…各地区男女各4チーム | 個人戦…各地区男女各8組 |
| (2) 県選抜大会  | 団体戦…各地区男女各4チーム |              |
| (3) 北信越大会  | 団体戦…男女各3チーム    | 個人戦…男女各6組    |

## 9 大会シード及び組み合わせ

- (1) 各地区大会
  - ① 団体戦においては、出場校の順位が明確になるよう、原則として3位決定戦を実施する。
  - ② 個人戦においては、3位決定戦・5位決定戦は実施しない。県選手権大会の組み合わせ編成における同順位組の取り扱いについては専門部に一任し、地区主任の抽選とする。
- (2) 県選手権大会
  - ① 団体戦のシードは、前年度の県選抜大会優勝校の地区を第1シードとする。その他の組み合わせは専門部に一任し、地区主任の抽選とする。
  - ② 個人戦のシード・組み合わせは専門部に一任し、地区主任の抽選とする。
  - ③ 北信越大会個人戦出場組による順位決定戦の組み合わせは、出場選手による抽選とする。ただし、同一校の選手が二組出場する場合、初戦での対戦を避けるよう配慮する。
- (3) 地区新人大会  
各地区大会の団体戦に準ずる。
- (4) 県選抜大会  
シード・組み合わせは専門部に一任し、地区主任の抽選とする。晴天時は予選リーグ後、トーナメント戦を行う。

## 10 その他

- (1) 応援については、声やリズムをそろえて行う集団応援は団体戦のみとし、個人戦では認めない。また、プレーをスムーズに進行させるため、過度（審判のコールやプレーに支障が出る）にならないようにする。
- (2) 各地区大会においても専門部規定を準用する。
- (3) 別紙「ソフトテニスに取り組むみなさんへフェアプレー・マナーとはー」を参照し、大会に出場する選手への事前指導を徹底する。
- (4) 本規定に違反している場合は、警告を与えたり、失格としたりする場合がある。
- (5) 県選手権大会でベンチ入りする監督（・コーチ）は、2級審判員の資格を有することとする。
- (6) その他の必要事項については、監督会議での決定事項を優先する。
- (7) 大会使用球については、平成30年度は男子がアカエム、女子がケンコーとし、新人大会以降はその逆とする。